

平成 31 年 4 月 19 日  
クミネ工業株式会社

## 取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、平成 31 年 3 月期を評価対象期間として、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しましたので、その評価結果の概要を公表いたします。

### 1. 評価の実施要領

対象者	平成 31 年 3 月時点での全取締役（計 9 名）
実施方法	全取締役を対象とした無記名式アンケート
質問内容	取締役会の構成・取締役会の運営・社外役員に対する情報提供等に関する設問および前回の課題改善状況ならびに自由記載によるアンケート
評価方法	アンケート結果を集計・分析したうえ、取締役会において評価および課題を確認

### 2. 評価結果の概要

当社取締役会は、多様な経験、専門性をもつ社外役員を含む取締役は、自身が果たすべき役割を十分に理解して意見を述べ、審議・意思決定を行っていることから、取締役会の役割を適切に果たし、取締役会の実効性は全体として概ね確保されていることを確認しました。

しかしながら、前年度に課題として認識していたジェンダーやダイバーシティを意識した取締役の招聘につきましては依然として課題が残りました。また、建設的議論を深めるべく取締役会への情報提供の拡充を図った一方で、より有用な議論を引き出すため、新たに以下の事項が課題として認識されました。

- 1) 時間的制約もあるなかで十分に議案を議論するためにも、取締役会における審議・報告事項のやり方自体を見直すなど、他の会議体を含めた役割について今一度見直す必要がある。
- 2) 取締役会に提出される資料や説明時の論点は、網羅性とフォーカス性のバランスを重視しながら、何を議論すべきかを事前に明確にしておく工夫が必要である。

### 3. 今後の対応

当社は、上記の分析・評価を踏まえまして、より経営判断にとって重要な議題の議論に十分な時間を割くことで、取締役会の実効性のさらなる向上を目指してまいります。

また、評価の方法等の改善は引き続き検討を行い、ガバナンス体制の一層の強化を図ってまいります。

以 上